

3 専任教員の研究費

(表20)

学部・研究科等	総額 (A)	総額 (B) (除、講座・研究室等の 共同研究費)	専任教員数 (C)	教員1人 当たりの額 ① (A/C)	教員1人 当たりの額 ② (B/C)	備考
アジア太平洋学部	10,700,000	10,700,000	55	194,545.5	194,545.5	個人研究資料費20万円/年/人 対象者：教授、准教授、専任講師、 助教、特別招聘教員
国際経営学部	8,100,000	8,100,000	43	188,372.1	188,372.1	同上
言語教育センター	1,900,000	1,900,000	65	29,230.8	29,230.8	個人研究資料費20万円/年/人 対象者：教授、准教授、専任講師、 助教
教育開発・学修支援 センター	1,800,000	1,800,000	11	163,636.4	163,636.4	同上
計	22,500,000	22,500,000	174	129,310.3	129,310.3	

[注] 1 2013年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2013年度の人数（助手を除く）を記入してください。

2 研究費総額 (A) には、学科、研究室等ごとに支給される研究費も含めて記入してください。ただし、間接経費（水道光熱費、人件費等）は除いてください。また、競争的な研究費も含めないでください。

3 研究費総額 (B) には、講座研究費、個人研究費等の名称は問わず、教員個人が専らその研究の用に充てるために支給される経常的経費（図書購入費、機器備品費、研究用消耗品費、アルバイトなどへの謝金等）を記入してください。

[大学注]

1 専任教員数 (C) は、春semesterと秋semesterに在籍した教員数の延べ数である。

2 アジア太平洋学部の教員1名は春semester末での退職、国際経営学部の教員1名は秋semesterからの着任、言語教育センターの教員1名は春semester中が育児休業中であったため、各々1semester分のみ（10万円）の支給である。

3 アジア太平洋学部・教育開発支援センターの教員各1名は契約上、支給対象ではない。

4 国際経営学部の教員1名（春semester末で退職）が休業のため、アジア太平洋学部の教員1名が支給要件を満たさず支給をしていない。

5 言語教育センター所属の嘱託講師については本学規程上、支給対象ではない。

6 言語教育センター所属の特別招聘教員1名、教育開発・学修支援センター所属の特別招聘教員1名については、個人研究費ではなく教育開発プログラム費が支給されている。（上記の研究費には含まない）